

ホンジュラス事務所便り

(2019年4月号)



【目次】

- | | | |
|----------------------|-------------------|------------|
| 1. 首都圏斜面災害対策管理プロジェクト | 総括/斜面災害リスク分析 | 桑野 健 |
| 2. テウパセンティより | 2017年度3次隊 | 梶野 真由奈/助産師 |
| 3. 日本とホンジュラスをつなぐ。。。☺ | 協力隊OV特別インタビュー | 今井 英里 |
| 4. 安全対策コラム | セマナサンタは、「横目」で警戒!! | 中川 透 |
| 5. 事務所の動き | | |
| 6. 編集後記 | JICA ホンジュラス事務所 | 小坪 鈴恵 |

首都圏斜面災害対策管理プロジェクト

総括/斜面災害リスク分析 桑野 健

斜面災害とは

斜面災害とは、日本でも梅雨時期や台風シーズンになるとよくニュースでも見られる「土砂くずれ」、「がけ崩れ」、「鉄砲水」、「落石」などの総称のことです。災害の形態や発生機構、規模などにより、様々な学術的分類がありますが、本プロジェクトでは、ゆっくりと（数mm/日）地面が移動する「地すべり」と、斜面中の土砂や石が急激に崩れ落ちる「斜面崩壊/落石」【写真1】といった現象を取り扱っています。

日本は、急峻な地形、脆弱な地質、梅雨・台風等による降雨、頻発する地震といった状況に加えて、狭い国土において道路・

鉄道が張り巡らされており、住宅開発も山間部にまで及んでいることから、斜面災害が極めて頻繁に発生しています。そのため、日本国民の生命・財産を保全する目的で、斜面災害の対策・管理に係る技術開発・研究が長年にわたり実施されてきており、発展してきたその対策技術は世界の中でもトップクラスにあると考えています。

プロジェクトの背景

ホンジュラスのテグシガルパ首都圏は、南北9~13km程度、東西10~15km程度の広がりを持ち、四方を山に囲まれた海拔800~1,000m程度のテグシガルパ谷の中に位置しています。テグシガルパ谷のチヨルテカ川の東のテグシガルパ市と西のコマヤグエラ市、その周辺地区を含めた首都圏において、地形判読（空中写真や高精度地形図を読み取って「異常な」地形を見つける作業）を行った研究では、1,500あまりの地すべり地形（現在、地すべりが発生している・将来的に発生する可能性がある特徴的な地形）があることも指摘されています。また近年では山麓部や斜面部



写真1 Villa Nueva 地区道路沿いで
2018年11月に発生した斜面崩壊/落石



写真2 無償資金協力により斜面災害対策工事を実施

での都市開発の影響から地すべりや斜面崩壊が、特に雨季に頻発し、都市生活に多大な被害を及ぼしています。

1998年のハリケーン・ミッチでは1,000人を超える死者・行方不明者を出し、斜面災害対策が首都圏における喫緊の課題となっています。そのため、JICAではハリケーン・ミッチの被災以降、斜面災害対策に係る技術協力プロジェクト、シニアボランティア、専門家派遣、無償資金協力などの事業を継続的に実施してきており、ホンジュラス側の能力強化に大きく貢献してきました【写真2】。

しかしながら、斜面災害の高リスク地区・地域は、いまだ首都圏内にも数多く残されており、雨季には住居が斜面災害の危険に晒されるなど、日本の効果的・効率的な対策・管理技術が求められています。そこで、ホンジュラス首都都庁 (AMDC) は日本政府に対して、AMDC、国家災害対策委員会 (COPECO)、ホンジュラス国立自治大学 (UNAH) をカウンターパート機関とした技術協力を要請し、本プロジェクトが実施されることになりました。

プロジェクトの概要

- ・ 履行期間：2019年2月～2022年12月（約47カ月）
- ・ 活動
 - ① 斜面災害現象を解明するための調査・解析
 - ② 斜面災害対策にかかる対策（構造物対策）の実施
 - ③ ハザードマップ及びリスクマップの作成
 - ④ 土地利用規制（案）の提案



写真3 AMDCで実施された技術協議(2019/3/19)

本プロジェクトは、本年2月に始まったばかりで、災害リスク分析や調査・解析、対策、GISなど合計9名の専門家が、AMDCの事務所を拠点として、約4年間にわたりホンジュラス首都圏の斜面災害対策を実施していますので、皆様よりよろしくお願いいたします。



写真4 第1回合同調整会議(2019/3/20)
日本人専門家によるプロジェクト活動の説明





山々に囲まれ、どことなくのんびりとした空気が漂うテウパセンティでの生活も、気が付けば 2 年目に入りました。そんな私の任地とそこでの生活について、この場をお借りして少しだけ紹介したいと思います。

まずは、唯一の観光スポット「ハラン川」から。日本語だと波乱！と何やら不穏な響きを感じさせますが、穏やかで美しい景観を楽しめます。

水浴びをしたり、魚を捕まえたり、河原をぶらぶらと散策したり…

のんびりとした時間を過ごせる癒しの場所です。

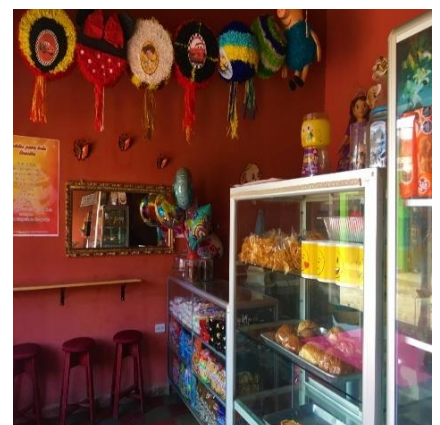


さて、遊んだ後はお腹が減るもの。テウパセンティには、いくつか食事をとれる場所がありますが、その中でもお勧めなお店を 2 つ。

1 つ目はホンジュラス料理のレストラン。店内は広く開放的で、安くて美味しい料理が食べられます。特にお勧めなのが、バレヤーダ。生地がふかふかで、ボリュームはありますが、ペロツといけます。

2 つ目は、ケーキ屋さん。改装して新しいメニューが増え、店内で食べるとコーヒーが無料で飲めるサービスを始めると、進化中です。

そんなケーキ屋さんで、私のはまっているのが、スポンジケーキ。見た目は素朴ですが、あっさりとした甘さで、生地はしっとり。やみつきになる美味しさです。



最近、テウパセンティでは、新しい中華料理屋さんができる等、少しずつですが、グルメが充実してきています。しかし、まだ日本食を提供するお店はありません。長年、JICA 海外協力隊が派遣されていて、日本食に興味を持っている人達が多くいるのにも関わらず…そこで、空いた時間にちょこちょこと日本食の作り方を教えたり、振る舞ったりしています。



その中でも、特に力を入れているのが餃子紹介。任地に着いて間もない頃、日本食について、同僚達と話していた時に、「甘いフリーホーレスだけは無理」「吐き気がする」等と散々な評価で、笑いのネタにすらされていた餃子達…餃子好きとして、何とかあの美味しさを伝え、評価を変えたい！！そんな思いを胸に、手始めに情報収集をしたところ、同僚達が過去に食べた事のある餡は粒餡で、こし餡は、まだ食べた事がないと判明。

そこで、こし餡をつくって振る舞ってみたところ、美味しいと言って食べてくれました。ちなみに、振る舞う際には、ドーナツ生地に包んだり、アイスと白玉を添えたり、クッキーやパンに塗ったり、色んな組み合わせを試しましたが、どれでも大丈夫でした。

もし、こし餡の作り方を知りたい方がいたら、いつでも声をかけて下さい。そして、ホンジュラス人でも食べられる美味しい粒餡の作り方を知っている方がいたら、教えて頂けると嬉しいです。

何だか食べ物のお話ばかりになってしまいましたが…残りの任地生活、周りの人達にテウパセンティの魅力を、テウパセンティの人達に日本の事を、可能な限り、伝えていけたらいいなと思っています。

最後に、お知らせです。配属先であるテウパセンティ市保健所では、今年 3 月より日本政府の援助のもと、日本の NGO (AMDA) による母子保健向上プロジェクトが始まりました。それにあたり、7 月 27 日土曜日に日本文化×母子保健向上プロジェクトの紹介フェアを公園で行う予定です。なので、もしご都合が合えば、是非テウパセンティに遊びにきて下さい。





協力隊 0V 特別インタビュー

今井英里さんは、協力隊活動中にマルカラコーヒーに魅了されました。活動終了後も毎年ホンジュラスを訪れており、今年もマルカラのアロマカフェを拠点にコーヒーにまつわる活動をしています。マルカラ滞在中の今井さんに話を聞きました。

● 隊員時代、どんな活動をしていましたか？

小学校教諭隊員として、ラ・パス市のディオニシオ・デ・エレラ小学校で算数の指導を中心に活動していました。

● 活動中の一番の思い出は？

デング熱に罹ったこと、活動先の先生と喧嘩をしたこともいい思い出ですが、多様な経験をした方々と知り合えたことで、価値観や考え方が変わり自分の幅を広げました。何よりもコーヒーとの出会いは、帰国後の進路を大きく変えました。

● 協力隊から帰国後はどのような生活をしていましたか？

地元愛媛でフリーターをしながらコーヒーの勉強のためコーヒー店を巡りました。その傍ら学校等での出前講座で講師としてホンジュラスの経験を伝えていました。そんな時に松山市の「イエムラコーヒー」に出会い、そこで経営や接客、焙煎について学びました。また、手探り状態でしたが、ホンジュラスコーヒー豆の輸入に向けた手続きを進め、2016年5月からはイエムラコーヒーにて自身で直輸入したコーヒー豆を販売しています。2018年には、イエムラコーヒーオーナーのホンジュラス視察に同行。生産者と交流の機会を作りました。

● 今回のホンジュラス滞在の目的は？

カップングの勉強と、豆の買い付けです。夏に開業予定の珈琲焙煎所では、コーヒーを通して生産者の想いやストーリーを届けたいと思っているため、生産の現場や生産者の生活を知ることも大きな目的です。

● 今回の成果は？

コーヒー豆は6~7軒の生産者から計57箱（1箱30kg）を購入の予定です。また、数多くの熱い想いをもちた生産者に出会ったことで、仕事を通して伝えたいものが明確になりました。コーヒー生産地を巡り素晴らしいコーヒーや生産者に出会ったことで、将来的な事業拡大を視野に入れた事業計画ができました。

● これからの予定や目標は？

今年夏頃に愛媛県大洲市五郎に「カトラッチャ珈琲焙煎所」を開店します。そこではホンジュラスのコーヒー豆のみを取り扱い複数の生産地の豆を販売する予定です。カフェスペースもあるので、産地ごとの違いを味わってほしいです。

● 今後のホンジュラスとの関わり方は？

大洲市の珈琲焙煎所を拠点に、生産者の想いやストーリーを日本の人々に伝えたいと考えています。また、日本の珈琲関係者をホンジュラスに案内する機会も作りたいです。将来的にはこのようなコーヒーを通じた交流が続き、両国の地方を元気にする手伝いが出来たらと思います。

● ホンジュラスについて思うことは？

協力隊員として活動している頃からずっと、居心地がよく、好きです。皆と共有する文化など、私たちが学ぶべきところがあると感じています。

コーヒーを通して、日本（愛媛）とホンジュラスを繋げたいと精力的に活動している今井さん。今後の活躍に注目です。（聞き手：小坪）





- よ 用心を怠らない。
- こ 行動のパターン化を避ける。
- め 目立たない。

4月17日(木)からセマナサンタの連休に入ります。連休中や連休前から一般犯罪や交通事故が増える傾向にあります。セマナサンタに旅行に出掛けられる方も多いと思いますが、飛行場やバスターミナルにおいて、置き引きやスリには十分に注意してください。海外に旅行する場合には、公用旅券を肌身離さず携行してください。

セマナサンタの水難事故にもご注意を!!

休暇中に川や海に行くこともあるかと思います。水難事故に遭わないためにもルールを守ることが大切です。

- ・体調不良時やアルコールを飲んだ時には泳がないようにしましょう。
- ・自分の泳力を過信する事なく深い所へは行かないようにしましょう。
- ・水温や遊泳時間に応じて休憩時間を定期的にとりましょう。

それでは皆様、よいセマナサンタを!!



「事務所の動き」

4月9日	2018年度4次隊 3名着任
4月10日	2018年度4次隊 大使館着任表敬
4月17日～21日	セマナサンタ(事務所休日)
5月1日	メーデー
5月6日	こどもの日振替休日
5月14日	ラウニオン生物回廊プロジェクト JCC
5月16日	2018年度4次隊引き渡し式(任地赴任)
5月10日～6月14日	平澤健康管理員休暇一時帰国(予定)
5月11日～6月21日	中川企画調査員(安全)休暇帰国





『編集後記』

インタビューをした今井英里さんは、愛媛県国際協力推進員を務めたことがあり、JICAの窓口として県内の国際協力を推進し、愛媛県OB会（愛媛県青年海外協力協会）も盛り上げていました。今井さんが珈琲焙煎所を開業する大洲市は、昨年7月の西日本豪雨で大きな被害があった地域でもあります。豪雨災害直後、今井さんは復旧ボランティアを協力隊OB等呼びかけ、多くの方が手伝いに集まりました。協力隊の経験が、愛媛、ホンジュラス両国でも発揮されていると感じる出来事です。



大洲市から車で約30分のところに、「車を降りたらすぐ海」な景色が広がる下灘駅があります。カトラッチャ珈琲焙煎所と合わせての訪問がお勧めです。



また、今井さんがコーヒーに魅了されるきっかけとなったマルカラでの日本文化紹介は、今年も現在活動中の隊員が中心となり実施しています。今年は3月16日にコーヒー祭りの中でよさこいソーランや書道などが紹介され、多くの観客でにぎわいました。

